

# 大 宮

THE OHMIYA HACHIMAN

令和 8 年 (2026)

皇紀 2686 年

新春号

【第 133・134 合併号】

<http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/>



漫画家 桂正和氏奉納

# 令和八年丙午歳の新春にあたり謹んで皇室を中心とする国家の隆昌と氏子崇敬者の皆様の清福を熟禱申し上げます

宮司 鎌田紀彦

本年の丙午歳の元旦、午前零時の初太鼓のあと、ご神前では吉例により観世流能楽のシテ方野村昌司師による神能「翁」が奉納され、新春が寿がれます。お陰様で昨年もお神恩を戴きながら、ご敬神の念の篤い氏子・崇敬者の皆様のご理解とご協力に支えられ、年間の諸祭儀をはじめ諸行事を滞りなく順調に進捗させていただきました事を誠に有り難く感謝いたしております。

鎌倉時代の御成敗式目に、

「神は人の敬により威を増し人は神の徳によりて運を添ふ」とありますように、氏子・崇敬者各位の真心からのご奉賛やご崇敬の念により、多くの方々にご参詣いただき、年間の諸行事を齎行いたしますことで、八幡大神様の広大無辺なご神威がいつそう高められると思っております。皆様にはそのご神威を戴かれ、物事が成就し益々繁栄することのできる幸運をお受け下さることと祈念いたしております。

また社頭では伊勢神宮のお札（神宮大麻）や当宮のお札（大宮大麻）をお頒かちいたしております。家庭の崩壊が叫ばれて久しいですが、現にお幸せなご家庭の方々のお話を伺いますと、必

ず家居に神棚がお祀りされています。毎日、目に見えぬご存在に「御蔭様で」と手を合わせ感謝する家庭生活をしていますと、自ずと家の中に秩序ができあがり、そこに心安らぐ明るく楽しい居心地の良い家庭環境が生まれます。神宮や氏神様をはじめとする神々のお恵みやご祖先の恩に感謝し、心から手を合わせ、生かされていることを実感し、その御心に沿う努力をしていくことが大切なのです。家を齊え治めることは、家庭の「まつり」をしつかり行うことでもあります。このような健全なご家庭には、神々のご加護と祝福が必ずあるものと信じております。家の秩序が保たれ、家族の皆様が平安に過ごせますと、家庭が円満になり、家族間の愛情や絆が深まります。夫婦愛、兄弟姉妹愛はやがて隣人愛や郷土愛を芽生えさせ、人と人との絆も深まり、住みよい町づくり、地域づくり、そうして力強い国づくりへと繋がるのではないのでしょうか。

本年もご神威輝くご神前にお参り頂き、大宮八幡宮の神々のご神縁と絆をより深く結び、豊栄昇る初日（朝日）を拜まれ、更に活気のある幸せ多き年となりますよう祈念致し年頭の挨拶と致します。

## 令和8年

### 新春の祭典と主な行事

1月1日	神能「翁」
1月1日	歳旦祭引き続き新春厄除
1月3日	開運初大祈願祭（一番祈願祭）
1月7日	小笠原流臺目の儀・大的式
1月15日	元始祭
1月25日	昭和天皇祭遙拝
1月26日	古神札焼納祭（とんど焼き）
1月26日	初天神大祭「大宮天満宮」
2月3日	文化財防火デー消防演習
2月11日	節分祭 鳴弦の儀・豆撒神事
2月13日	紀元祭
2月23日	初午大祭「大宮稲荷神社」
2月25日	天長祭
3月20日	梅花祭「大宮天満宮」
3月下旬	春季皇霊祭遙拝
4月上旬	大宮八幡桜まつり
4月1日	応神天皇陵遙拝
4月3日	神武天皇祭遙拝・本宮遙拝
4月29日	昭和祭・春の弓道奉納射会
5月3日	大宮八幡宮わかば祭り（春の大祭）
第一日ノ儀	
この日の祭り・稚児行列・はしご乗り	
第二日ノ儀	
植樹祭（苗木配布）	
当日祭（尚武祭）	
5月9日	裏千家献茶式
5月16日	御嶽権名神社例祭「御嶽権名神社」
6月3日	狭城盾列池上陵遙拝並びに神功皇后祭
毎月1日	朔旦祭
毎月15日	月次祭
毎月25日	大宮天神月次祭

（どなたでもご自由に参列できます。）

毎月・お朔日参りを致しましょう

## 謹賀

### 令和八年元旦

大宮八幡宮  
代表役員宮司  
鎌田 紀彦

責任役員

和田東地区

藤枝 宏友  
内山 誠  
瀨沼 宏章  
鈴木 恭男  
末柄 憲章

横尾 信彦  
佐野 晃央  
岩船 守男  
笠原 紀一  
玉村 恭男

議長 回  
丸山 光男  
古屋 進  
葉梨 俊郎

和田西地区  
藤枝 宏友  
池田 純一  
森川 鐘司  
葉梨 俊郎  
春原 功典

監査  
笠原 紀一  
瀨沼 年男  
細野 修三

松ノ木地区  
太田 正  
瀨沼 年男  
瀨沼 宏章  
松島 敏之  
井川 邦夫  
松島 穰  
小川 宗次郎

総代  
大宮地区  
荒井 昭一  
古屋 進  
前田 正文  
五本木 勝  
末柄 哲男  
根岸 政明

東京都敬神婦人連合会  
大宮八幡宮敬神婦人会  
（りんどう会）  
会長 鎌田 民枝

方南南地区  
丸山 光男  
齋藤 恵一  
内山 誠義  
山崎 政義  
相川 雄一  
三枝 稔明

兼務神社総代会長  
堀ノ内熊野神社  
渋谷 達雄  
成宗白山神社  
岩田 和保

方南北地区  
岩崎 太良  
齊藤 多美夫

尾崎熊野神社  
蕪山 広司



## 新春献燈提灯奉納のご案内

新春の期間、1月1日～2月3日まで、皆様のお名前を入れた献燈提灯を掲出させていただきます。世の中の幸多き未来を照らし出すように祈念してご社頭を賑々しくお飾りします。



元日午前零時、宮司の打ち鳴らす初太鼓が境内に響き渡り、令和8年の幕が開きます。新春を祝うご参拝の皆様が拝殿前へと続く中、拝殿内では観世流シテ方能楽師の野村昌司師による**神能「翁」**が奉納され、天下太平・国土安穩を祈念します。ついで宮司奉仕により**歳旦祭り**引き続き**新春厄除開運初大祈願祭（一番祈願祭）**を斎行。皇室国家の弥栄、五穀豊穡と国民の安寧、諸願成就を祈念いたし、新春初祈願祭が2月3日の節分まで奉仕されます。

**明けましておめでとーございます**  
令和八年丙午歳正月  
一日 観世流能楽師 野村昌司奉納 神能「翁」  
二日 小笠原流除魔神事 藝目の儀・大的式



2日午前には、小笠原流宗家による**新春除魔神事・墓目の儀・大的式**が奉納されます。墓目の儀では**墓目鳴鑼矢の「ヒュー」という霊妙な風切り音**により魔障を退散させ、弓威により一年の邪気を払います。3日には、皇位の大元始を寿ぐ**元始祭**を斎行。こうして大宮八幡宮の一年が始まります。

## 大宮八幡宮 早春の行事

### 古神札焼納祭（とんど焼き）斎行

小正月の伝統行事、古神矢・古神札焼納祭（とんど焼き）が、1月15日睦月月次祭に続いて斎行されます。古く宮中では、小正月に清涼殿東庭で古書を焼く左義長の儀式が行われました。当宮ではこの故事に基づき、社殿にて**睦月月次祭**に併せて**焼納奉告祭**を行い、続いて午前11時半より拝殿前特設斎場にて**焼納祭**を斎行します。参拝者の皆様がお納めになった正月飾りをはじめとして、ご神札、お守り、守護矢注連縄等が斎場に積み上げられ、まず古式に則り**火鑽**神事が行われ、熾された浄火により点火。燃えさかるお焚き上げの忌火を前に宮司以下神職が**大祓詞**を奏上



### とんど焼きにご協力をお願い

ご神札等をお納めいただく際に至て点検・選別させていただき、**神社関係以外のもの・燃えないもの・有毒物質の発生の恐れのあるもの（プラスチック製品等）・包装紙**は、その場でお持ち帰りいただいております。  
◆**お守り古神矢・古神札類**他の神社のものも可  
◆**及び正月飾り**のみお預かりいたします。  
◆**人形類**は、別途ご社殿におきまして**人形感謝祭**を斎行してからお納めいただきますので、直接祈願受付所へお申し出ください。ただし、ぬいぐるみはお預かりできません。

## 新春初祈願祭のご案内

し、参列の皆様をはじめ氏子崇敬者各位のこの一年の除災招福を祈ります。また境内では、当宮敬神婦人会（りんどう会）により**厄除ぜんざい**が浄火によつて炊かれ、振る舞われます。



元日の午前零時、その年最初の祭典である歳旦祭に引き続き「**新春厄除開運初大祈願祭（一番祈願祭）**」が宮司奉仕により執り行われます。この祈願祭は、あらかじめ予約申込みを頂いております。引き続き午前1時より氏子・崇敬者の皆様の新しい年のご繁栄をお祈りする**新春初祈願祭**を行っております。ご家庭や職場の皆様のご願意に応じて、2月3日の節分まで随時ご祈願祭をお受けしております。

また左記の時間の祭典及び、新春奉納行事などの参拝の際は祭典終了までお待ちいただく場合がございますので、詳細は社務所までお尋ねください。

1月3日午前9時 元始祭  
1月15日午前10時 月次祭

## 企業団体の祈願祭も

企業・団体様の仕事始めに合わせて、更なるご発展を祈る祈願祭もご奉仕しております。祈願祭にはご代表様・従業員の皆様お揃いでご昇殿いただきます。ご祈願を受けられ清々しい仕事始めと致しますよう。新春初祈願祭に限り、社頭の申込書に必要事項をご記入の上、事前申込みいただけます。



## 大宮天満宮 初天神祭・梅花祭

1月25日午前10時より初天神祭が斎行されます。御祭神であり学問の神様である菅原道真公に学業成就・技芸上達を祈願し、梅の香かおる梅ヶ香御守が社頭に特別に授与されます。また、2月25日は菅原道真公の命日にあたり、梅の花をこよなく愛でた道真公を偲び梅花祭が斎行されます。梅が枝、梅花米が供えられ、諸願成就が祈念されます。



## 文化財防火デー消防演習

昭和24年1月26日、世界最古の本造建造物である奈良・法隆寺の金堂で火災が発生し、壁画の多くが焼失しました。貴重な文化財の焼失を防ぐため、この日は文化財防火デーと定められました。当宮では自衛消防隊・杉並消防署・杉並消防団第2分団による消防訓練が毎年実施されます。午前10時、御社殿より出火を想定して通報連絡、避難誘導、貴重品の持ち出し、初期消火等の訓練が行われ、大宮幼稚園の園児たちの見守る中、社殿への一斉放水が実施されます。



## 成人奉告祭ご案内

新年を迎え新たに成人したことをご神前に奉告し、神明の御加護のもと社会の一員としての自覚を新たにすると成人奉告祭を随時ご奉仕しています。ご祈願の新

成人の皆様には宮司揮毫の干支絵馬を特別授与いたしております。新成人の皆様のご参拝をお待ちしております。

## 節分祭（鳴弦の儀・豆撒神事）

立春の前日の節分は四季の変わり目の中でも特に重視されてきました。悪疫邪気を追い払う追儺神事は中国より渡来したもので、『続日本紀』には文武天皇の御代に疫病を鎮めるために行われたとの記述があり、我が国でも古来より行われていました。当宮では2月3日に節分祭を斎行し、宮中の例に習い桃弓・葦矢で「天・地・鬼門」に潜む魔を射る除魔神事を行い、ついで社殿前にて宮司により弓の弦の鳴る音で妖魔を祓う鳴弦の儀が行われます。その後、鬼のお面を点けた当宮幼稚園園児が参加して行われる豆撒き神事も微笑ましい節分の行事として親しまれています。



## 大宮稲荷神社初午大祭



本年は2月の2番目の午の日である2月13日の午後1時に、大宮稲荷神社初午大祭が斎行されます。約1300年前の和銅4年

## 初午のぼり奉納募集

お稲荷様は、商売繁盛・家内安全のご利益のある神様です。本年も、左記により商売繁盛・家内安全等を祈願する朱色のぼり「を大宮稲荷神社のご社頭に奉納賜りますよう、ご案内いたしお願い申し上げます。一、朱色のぼり一口三、〇〇〇円できましたら二対二口以上でお願いいたします。のぼりには、ご氏名（または会社名）（またはは会社名）をいれさせていただきます。



## 勧学祭・ランドセルお祓い式

子育て八幡様のご加護を戴き、6年間の学業成就や学校生活の充実、交通安全を祈願する勧学祭を斎行し、これから毎日背負うこととなるランドセルをお祓いします。小学校への入学は大きな人生の節目です。ご神前にてランドセルのお祓いを受け、心身共に清々しい気持ちで新学期を迎えましょう。



## 大宮八幡桜まつり開催

桜の開花する3月下旬から4月上旬には、大宮八幡宮を中心とする和田堀公園

（旧境内）一帯で善福寺川沿いの約700本の桜が一斉に咲き誇ります。開花シーズンの土曜・日曜は午後8時まで開門し、大宮八幡桜まつりを開催。夜間参拝と桜満開の和田堀公園への通り抜けができます。



## 新春厄除祈願祭のご案内

厄年は、古来人生の節目として特に気をつけなければならぬとされている年回りです。厄除けのお祓いをお受けになり、清々しい一年に致しましょう。

## 令和8年厄年表(数え年)

	男	性	前 厄	本 厄	後 厄
			平成15年生(24歳) 昭和61年生(41歳) 昭和42年生(60歳)	平成14年生(25歳) 昭和60年生(42歳) 昭和41年生(61歳)	平成13年生(26歳) 昭和59年生(43歳) 昭和40年生(62歳)
	女	性	前 厄	本 厄	後 厄
			平成21年生(18歳) 平成7年生(32歳) 平成3年生(36歳) 昭和42年生(60歳)	平成20年生(19歳) 平成6年生(33歳) 平成2年生(37歳) 昭和41年生(61歳)	平成19年生(20歳) 平成5年生(34歳) 平成元年生(38歳) 昭和64年生(62歳)

※本厄の前年は前厄、後年は後厄にあたります。厄年に限らず、除災招福の厄除祈願を受けることができます。



# 杜の話題

## 大宮八幡祭り(秋の大祭)

恒例の大宮八幡祭り(秋の大祭)では、まず9月13日に若宮八幡神社並びに白幡宮例祭を斎行、9月15日には例祭併せて氏子奉幣祭が斎行されました。祭典中には献饌に続く裏千家淡交会東京第7西支部による奉茶の儀の後、宮司が祝詞を奏上。神社本庁の献幣使として松山文彦(東京都神社庁庁長・東京大神宮宮司)が参向され、神社本庁幣を奉幣し、祭詞を奏上いただきました。また、本年度副奉幣使(副祭礼委員長)の内山誠責任役員が大宮・方南南・方南北・和田東・和田西・松ノ木の氏子6地区よりの浄財を氏子幣として大前に献じ、奉幣使(祭礼委員長)末柄哲男責任役員が氏子祈願詞を



奏上されました。続いて巫女2人による浦安の舞が奉奏され、祭典終了後には直会が開かれました。同日午後6時から、第37回神輿合同宮入りが斎行されました。本年は8基の神輿が大宮宮元會神幸所より発輿し、順調に表参道を進み、江戸消防記念会第九區八番組の木遣りを先頭に神門内大前に練り込み、熱気に満ちた神輿振りは最高潮に達しました。

大祭期間中には大宮幼稚園園児民謡踊り・杉並太鼓・方南エイサー踊り・佼成雅楽会による舞楽・高井戸囃子などの奉祝行事が行われ、露店も出店されて境内は大変賑わいました。さらに重陽の節句菊被綿飾りが、9月9日より16日まで清涼殿ロビーにて展示されました。



境内は大変賑わいました。さらに重陽の節句菊被綿飾りが、9月9日より16日まで清涼殿ロビーにて展示されました。

## 第25回十五夜の神遊び

今年の十五夜(旧暦8月15日)は10月6日であり、直近の土曜日の4日に第25回十五夜の神遊びが斎行されました。夕刻6時より仲秋祭が斎行され、約1300基の竹灯籠に神職や参列者等の手によって火が点されました。

本殿では雅楽「陪臚」が、神楽殿では「浦安の舞」が奉



## 中学生職場体験

当宮では近隣の中学校の職場体験を受け入れており、6月3日・5日に高井戸中学校の2年生女子4名が、7月8日・10日に向陽中学校の2年生男子1名女子3名が、10月22日・24日に松溪中学校の2年生男子2名女子1名が参加しました。神職の指導により白衣袴姿で朝拝に参列。境内の説明から掃き掃除、雅楽体験、授与所でのお守りの授与、大祓詞の書写など、神社でしかできない多くの経験をしました。最終日には装束を着けて記念写真を撮影しました。



奏されました。引き続き神楽殿にて月の音舞台が開かれ、尺八奏者き乃はち氏による演奏が奉納されました。



## 東京都八幡会研修旅行 沖縄県方面へ

毎年恒例の東京都八幡会(会長・当宮鎌田宮司)の研修旅行が、「沖縄県八幡信仰を訪ねて」と題し開催されました。16名が参加し、10月8日から10日の日程で行われました。

まず、那覇空港に到着した一行は、沖縄護国神社を正式参拝しました。ついで沖宮を参拝の後、崖の上に鎮座する、琉球八社の筆頭であり近代社格制度で官幣小社に列せられた波上宮を正式参拝。その後、天久宮、安里八幡宮を参拝しました。

2日目は、琉球の政治、外交の中心地であり、琉球王国の栄華を物語る首里城を訪れ、開門を告げる朝の儀式(御開門)を見学。琉球王国第二尚氏の陵墓で世界遺産の玉陵を見学しました。ついで首里から訪れた女神が普天間の鍾乳洞に籠ったため、その洞窟に社を建て祀った事が始まりとされる普天間宮を参拝し、グスクの石積技術の残る世界遺産中城城跡を見学、識名宮を参拝しました。



3日目は、琉球王国最高の聖地であり、以前は男子禁制であった斎場御嶽を訪れ、当時の祭祀についての説明を受けました。その後、先の沖縄戦で



## 千玄室大宗匠逝去

裏千家前家元の鵬雲斎千玄室大宗匠が8月14日に102歳で逝去されました。千玄室大宗匠には長きにわたって毎年5月に当宮にて裏千家献茶式をご奉仕いただいております。今年5月にも矍鑠たるお手前で濃茶と薄茶をご神前に献じられていました。当宮への格別な心寄せに感謝申し上げ、追悼の意を表します。



犠牲となった戦没者の慰霊の為に設置された**県営平和祈念公園**を訪れ、沖繩戦の犠牲者や南方諸地域で戦没した東京都の関係者の為の慰霊碑「東京之塔」に、鎌田会長を先頭に献花をして拝礼しました。最後に**旧海軍司令部壕**を訪れ、唯一の地上戦が行われ凄惨な結果となった歴史を今に伝える資料館を見学し、帰途につきました。



## 神宮大麻頒布式並びに氏神社神符等奉戴式

11月12日、



右 神宮様のお札  
中 伊勢神宮様のお札  
左 三荒神様のお札

初春を迎えるにあたり氏子崇敬者・立正佼成会会員の方々にお頒かちする**神宮大麻頒布式**並びに**氏神社神符等奉戴式**が斎行されました。藤枝責任役員、瀬沼責任役員、末柄責任役員、兼務神社役員、立正佼成会神札頒布責任者の森川順子様代理の森川総代ご参列のもと、ご神前にて神宮大麻や各氏神大麻、大宮三荒神などの神札類の頒布始めを大神様に奉告後、各代表に授与されました。また12月中旬には、神職が各ご家庭にお伺いして神宮大麻、氏神様のお札、三荒神様の御神札をお頒



かちしてあります。ご希望の方は、当宮社務所もしくはお近くの当宮

責任役員・総代にお尋ねください。各ご家庭や会社の事務所の神棚に新しい御神札をお祀りして幸多い一年といたしましょう。

## 大宮幼稚園児画展



大宮幼稚園年中組の園児たちの「ぼく・わたしの好きなもの」をテーマにした73点の作品が、神門南側回廊に11月3日より11月30日まで展示されました。園児や保護者が、自分やお友達の描いた作品を鑑賞していました。

## 秋の実りに感謝 新嘗祭

11月23日午前9時より、新穀を八幡大神様にお供えし五穀豊穡を感謝する**新嘗祭**が宮司以下祭員奉仕により執り



**毎月お朔日参りには 月代り御幣守護を!!**

当宮では古くより朔日（一日）、十五日に月参りをされる方が多く、こうした方々に年間を通じて八幡大神様のご神威をお受けいただくべく、毎月の朔日祭に併せてお朔日参り**大御幣振り神事**を奉仕して月代りの御幣守護を授与いたしております。

月毎にお申し込みの場合は**初穂料三千元**、年間一括でお申し込みの場合は**初穂料三万円**にて斎行いたしております。



行われました。責任役員、総代、りんどう会会員、氏子青年会会員、奉納者らの参列のもと斎行され、当宮幼稚園園児らが園内の稲田で丹精込めて育てた初穂や、サミット(株)、(株)J A東京中央セレクト、山崎製パン(株)、駒野屋など、氏子崇敬者の篤志の方々から献納された穀物や野菜果物などが**庭積機代物**として大前に献じられました。



庭積機代物



## 一万人のお宮奉仕 清掃奉仕



全国各地の神社仏閣にて清掃奉仕活動を展開している「一万人のお宮奉仕」の活動が12月9日に行われました。正式参拝の後、境内の落ち葉を集めるなど清掃奉仕活動を行いました。午後には神職による講話を受け、懇親会を行いました。

## 第32回杉並花笠祭り

12月13日、いまや師走の風物詩となっている杉並花笠祭りが開催されました。



## 桂正和氏作画 限定干支絵馬頒布

「ウイングマン」や「電影少女」などで知られる漫画家の桂正和氏が、この度午年を迎えるにあたり、日の丸を背景に今にも天に駆けのぼらんとする馬の原画を奉納されました。当宮では、その原画をあしらった絵馬を正月より授与所にて頒布いたします。



告祭が本殿で斎行され、午前11時には神門前のステージで鏡開きが行われました。表参道より大前まで午前・午後の2度にわたって花笠踊りのパレードが奉納され、山形産の農作物や特産品の露店が立ち並び、山形県の郷土料理である芋煮や御神酒などがチャリティで振る舞われました。初冬の境内には午前10時から午後3時まで約3万人の参拝者で賑わいを見せました。

## 第47回杉並大宮菊花展

10月25日より11月23日まで第47回杉並大宮菊花展が開催されました。11月13日には杉並大宮菊の会主催のもと審査会を開催、宮司賞以下の選定が行われました。第47回杉並大宮菊花展表彰式は12月10日に執り行われました。

### 第47回杉並大宮菊花展受賞者

宮司賞	彩胡優美	青木 弘次
杉並区長賞	国華越山	吉田 光治
杉並大宮菊の会会長賞	泉郷富水	松尾 和雄
大宮八幡宮責任役員賞	精興右近	古澤 泰志
審査委員長賞	国華若宮	庄司 衛
京王電鉄賞	国華万舞	吉田 晴美
サミット賞	泉郷富水	松尾 和雄
みどりの会会長賞	国華越山	青木 弘次
新人賞	国華幸運	石黒 陽子



## 御垣内清掃

### りんどう会だより

9月5日、秋の大祭を控えて清掃奉仕が行われました。五本木副会長以下8名の役員・会員は正式参拝の後、御垣内を清掃し御社殿を拭き上げました。



## 氏子青年会だより

9月6日、秋の大祭を控えて注連縄張り奉仕が行われ、神輿の合同宮入りの渡御お道筋の表参道両側、方南通りに注連縄を張り巡らせました。12月21日、年末恒例の門松づくりが行われ、新春を迎える準備を整えました。





## 大宮八幡宮 第12回フォトコンテスト 入選作品発表

金賞



『枝垂れ桜 春らんまん』  
濱田文夫

銀賞



『頑張って!』  
岡本洋三

銅賞



『春雪』  
高柳寛也

銅賞



『閉門間近の  
赤門から見た景色』  
吉村直樹

銅賞



『華やかに』  
畠山敏郎

銅賞



『君が作る物語』  
城石和明

銅賞



『古代への誘い』  
中田好忠



審査委員長賞(優秀賞)

第12回大宮八幡宮フォトコンテストが開催され、7月31日までに大宮八幡宮の四季折々の風景や、祭礼行事を写し撮った16名、63点の作品が寄せられました。8月16日に、杉本恭子審査委員長をはじめ、宮司・審査委員各位の厳正な審査の結果、最優秀作品1点、優秀作品1点他、各賞が選出されました。また、10月4日には奉告参拝の後、選考作品特設展示会場にて杉本審査委員長より出品者へ総評、各作品の講評が発表され、大宮八幡宮清涼殿「亀の間」で表彰式が行われました。なお、当日は夕刻より第25回十五夜の神遊び(仲秋祭)が行われ、受賞者の方々は秋の夜空の下、竹燈のほの灯りに照らされた境内を散策、雨月の趣きとしばしの撮影会を楽しみました。



⑩そして石に戻りました。



⑦神様は「木と葉っぱは家族だから一緒なんだよ。」



④「木が輝くためにあるのかな。」



①この神社に狛犬が住んでいました。



⑪もう暑い夏がやってきました。



⑧「わはは。」と笑いました。



⑤「それとも支えるためにあるのかな。」



②狛犬は、石から出て散歩に行きました。



⑨狛犬は神様と別れて帰りました。



⑥狛犬は、神様に聞きました。



③この木を見て、狛犬は思いました。「なんで木には葉っぱがあるんだろう。」

『かぞくだね』 しろいしゆきあき

## 第13回 フォトコンテスト 作品募集中

当宮の自然や行事風景を、プロ・アマ問わず皆様の目で写し撮ってください。出品作品は八幡大神様にご奉納いたします。大宮八幡祭り(秋の大祭)期間中に展示し、ご参拝の皆様にご覧いただきます。

応募期間

令和7年8月1日～

令和8年7月31日

募集サイズ: 2L・4ツ切サイズ

大宮八幡宮に関係した作品であれば、風景・人物・行事等テーマは自由です。但し、各神事での撮影禁止事項をお守りください。応募作品は一人につき5点までです。

詳細は、社頭やホームページ上にて要項をご確認ください。

協力写真店

フォトグラフ三光堂(大宮八幡宮入口)

カメラハウス本店(久我山)

※入賞作品の著作権は応募者本人に帰属しますが、使用権は主催者に帰属するものとし、展示や当宮の出版物・広報・インターネット等は無償で使用させていただきます。(※各媒体掲載時には、氏名のみを掲載させていただきます。)



(令和7年3月21日～11月20日)

– 9 –

平林楓子	野田充希	鶴飼結菜	大岩根千織	山中晴翔	水越結仁	木村碧励
岡本侑磨	飯盛環花	小川利央	小川蓮叶	村上誠	中里律月	二戸葵衣
吉田陽菜乃	湯浅登偉	依田逢叶	稲井唯乃	田宮律	伊藤怜央真	河西利穂
多田舞咲	青木朝音	内田紗	橋本羽唯	池田裕翔	佐藤佳歩	宮城柳葉
関口和	青木小夏	新井凛	大野千良	太田郁花	西村陽	吉田和真
菊田柚葉	山崎のどか	青井百音	小松花瑛	井手柊色	藤本咲菜	村上朝葉
芥川翠	菅野琥太	大館彩生	羽田千紜	宮原朔太郎	鈴木律翔	近藤蘭
大木柚乃	星野寛太	藤田瑛真	竹下航生	吉田葉奈	鈴木源太	田部陽風
三谷柚寿	井上蒼	荻田一輝	浜本晟	加藤せら	久保美由希	井上柚葉
荻本羽惟	宮本直弥	阿部湊灯	中西夏逢	今井柑太	向光柳	亀田悠元
景山桔花	浅木菜那	岡村奏佑	宗政翔真	久多良木帆高	戸部未愛	田中大喜
牛久保凛	竹内美桜	浦野友玖	管一縁	伊藤恒亮	市川千晴	岸野明音
赤坂龍翼	中野蘭	溝口梨央	藤井結士朗	星結以花	米山詞葉	住友絢香
柳川尊信	岩崎澄晴	湯山想士	西宮由泰	作田紺	奥村天翔	徳永聖空
川田夏紬芽	福元綾汐	丸日舞翔	長沼開	高島心悠	白川直	監物湊音
江口蓮人	伊藤陽馬	鈴木晴道	森田大誠	佐野瑠々	白川洸	足谷楓真
小田咲綺	細井茉優	泉水太陽	小林千晃	古川瑚夏	駒井百寧	渡辺蒼大
土岐琳花	豊泉叶音	藤本怜香	平賀友梧	吉田美紘	辻田光季	湯田丞玖
田中千太郎	辻紬希	岡野帆昂	塩濱大維	金岡樹里佳	内藤綾海	至極大稀
平田樹理	花岡眞子	天川莉心	穂坂聡吾	関利玖斗	佐賀陽日	柴田千馳
倉益紫唯	西山彩香	小杉美琴	丸山晴也	千代連来	中島螢	友野菜土
久家すず	西山優香	田中渚人	三澤叶夏	齊藤巧翔	唐澤佑依	齋藤悠莉
森遙也	今村沙穂	伊藤純蓮	柴田綴	平山拓実	簡井海遥	溝上詠桃
小谷翔琉	根宜・杉山千	松井瑚文	根岸波也人	亀田来碧	鹿野巴蘭	橋本玲央
早瀬遥仁	笑	塚野将吏	戸張世渚	中西葵花	花村慧	坂上玲
根津凜太郎	糸賀優元	小倉翠生	尾頭向葵	佐方寿々子	倉澤杏寧	高橋永柳人
坂本真凛	高山歴	竊島成	小川唯月	渡邊海俐	鈴木啓仁	野口菜瑠
松本滯	池田星椰	堀口陽介	西岡果穂	千野夏蓮	福地こすえ	松岡趣夏
城戸よつ葉	中田泰	岡田莉子	重富ひまり	三島良之	山下和久	若林詩
西山黎	副田朱莉	福元利都	小熊想奈	松岡珠々	宮前葵緒	高木郁人
長谷川俊	富山柊	丹波はたる	河内楷	相賀美緒	羽崎香蓉	古川奏多
杉浦晴	池田百音	齋藤朝香	中神舞南	遠藤絢世	羽田結杏	川村琉翔
山田美奈	田畑百萌奈	丸山陽大	米澤翠	佐藤明陽	植村響子	木村陽葵
金川詩歩	海沼拓実	野尻楓太	波多野夏澄	眞島旺海	落合昌隆	清水理子
鶴山美緒	岡田芽唯	村井凛音	小茂島晃杜	内山夏瑚	栗原湊	瀧田伊月
宇杉晴風	森田佑	永島七柳	西村月希	小野莉麻	井上宮	峰岸美里
山口晃太	伊東歩	高橋碧芭	田代瑛大	川上珠生弥	堀江航瑠	郷佐結乃
吉田琉心	野口莉世	星野桃菜	塩澤采波	塩澤采波	石川陽葵	荻野夢地
西川碧	鈴木律翔	池澤来花	藤原彩葉	高橋琉楓	小林燈乃	萩田あめり
小松礼	秋山夏輝	清水環玖	相澤空彩	川本麻子	小谷明日香	谷津奏実
白須ゆりか	後藤豊稀	橋本朔弥	長瀬楓佳	福井唯乃	江田柳千	森下愛都
福田昂央	小俣杏莉	鶴澤遥輝	川原志真	磯田佑人	宇多結羽都	上原碧
川原青葉	谷本彩葉	金田弥麻叶	山口大晴	茂田瑛太朗	古屋敦都	浅妻桔汰
上野伊翔	西村慧希	村山日菜	水内右京	五十嵐宇唯	高橋彩花	金子穂乃花
小川友悠	前田琉晴	井上詠葉	中村碧	山下颯真	鈴木彩葉	北澤路依
川崎一紘	鈴木颯太	金井立夏	山下颯真	鈴木想乃	高橋凛太郎	鈴木結南
荻原京介	亀井花音	三ツ木遥香	漆原千景	中道蓮	加納世那	上山愛令
峯崎梓乃						



## 「子どもと神様」

副園長 草村敏子

大宮幼稚園の子どもたちが一番身近に感じる神様は例祭で執り行われる「子ども神輿にお乗りになれる神様」です。待ちに待ったお神輿担ぎの日、子どもたちは保育室でまず大宮八幡宮の真新しい手ぬぐいを一人ひとり手渡され、保育者が順番に笹竜胆のマークを子どもの額にあわせてから、後ろに回ってキリリとねじり鉢巻きの形で結び気持ちよく引き締められます。



そして神社に向いてお祓いを受けるのですがこの時、外拝殿で龍笛の音色に合わせて女性神職さんが朗々と「豊栄の舞」を歌い、お巫女さんがその舞を奉納されます。神職さんが神様をお札の形でお神輿にお乗せするお祭りをいたします。この一連の流れを目の前で見ている子どもたちは更に気持ちが高まり、神様を身近に感じるようになります。

いよいよお神輿担ぎの始まりです。内拝殿から降りてくるお神輿を受け取り、馬に置いて子どもたちが担ぎ棒を手にして、先生の笛の合図で担ぎ出し、ワッシ



Yo! ワッシ Yo! の掛け声とともにお神輿が練り始めます。その先導の露祓いは縄を振るう3人の子もたちです。周りです。

数日後、今度は浴衣などに身を包んで「民謡踊り」を全園児が奉納します。東京なので東京音頭が得意なのではと思われませんが、当園では神社保育連合会の東北大会に

参加して以来「花笠音頭」が得意です。年長児は手作りの花笠を手に持ち、年中児と年少児は「ヤッショマカショ! シャンシャンシャン」の掛け声をかけて、それはにぎやかな奉納となり、父母の会の役員さん方も職員と共に舞台上がり奉納をします。



今年のお神輿担ぎは9月11日、民謡踊りの奉納は9月14日の宵宮祭に神様を身近に感じられるように心をこめてご奉納しました。



高木佑	田口惺花	岩田風音	宮崎華蓮	橋本紗和	大高真望	川本陽菜
田中心陽	綿引斗唯	西本昇生	原田權	熊谷灯真	柴崎莉愛	山口琴奈
鈴木久遠	細川文歌	山本椰月	田尻悠乃	清水千夏	渡邊想与	山口琴奈
藤川なのは	神原純斗	工藤咲来	板橋想太	門間千昊	藤田蒼風	小島彩人
間々田侑	寺園胡桃	青山夏樹	山田詩希	守山榮	島田海紋斗	細野莉侑
右井碧陽	元重光稀	西村結愛	宮田瑞生	安井理琥	宮原秋	成田えわ
仲西莉央	末吉佑守	宮田瑞生	金子采峯	上田世采	櫻木隆之介	保田松采
古野杜和	緒方海理	渡邊文哉	松戸マツリ	中島彩瑛	永牟田一那	石塚榮
田中千尋	上杉朱理	木村澄	引地真大	後藤風	大腸千恵	平塚美晴
山根悠悠	坂尻世龍	瀧下梓	藤岡朱依	高平理仁	塩井慧吾	長谷川莉都
中村杏佳	寺岡樹剛	小川夢華	瀧川穂乃果	高平理仁	森川帆音	坪内優月
鈴木泰詩	土屋結鈴	劉泰梨	水谷泰凛	林希帆	蓮見翠	丹野夏玖
篠塚那彩	山口潤	二宮楓介	町田暁	砂川菜緒	馬場楓夏	湯沢綾
河井文弥	千葉陽夏乃	平松絃羽	廣田愛乃	高野雅久	東條汐	富岡絃葉
今田純希	相澤知依	桐原桜夜	岡村穂	ボーカンフ芳琉	今泉慧祐	
藤田桐乃	東上慈生	米澤統	大関夏月	稲垣伊織	齋藤大誠	
山田伊純	高石朔弥	荒木葵椰	前原幸穂	鶴伊織	萩原野恵	
田村楓希	谷川和奏	河津大葵	西村侑莉	雁部澤里	星慧優	
長島希空	藤野智士	寺田舞衣	山下玲維	関水翔杷	奥嶋かや	
加藤凱都	棟近祈璃	鮫島一沙希	西岡秀翔	永澤絃伊	柏田幸香菜	
小西日々	岡田柊惺	高橋つむぎ	清水玲花	橋長鞠花	余田美知佳	
松岡治佳	塚本ことみ	金守永磨	清水玲花	須藤立	井上遥子	
小熊渚叶	細川依月	宮田想太郎	京屋沙恩	村田環	林梨乃	
杉江航	山本彩椰	難波泰生	鴨下紡季	大谷泰智	山根播留	
松浦暖	長谷川	白倉大智	高島羽月	塩川紘	大部雄平	
竹内希帆	佐野辰弥	高比良晴生	山崎新砥	山口統矢	徳川碧星	
高橋千紗	熊谷祐理	石坂咲奈	五十嵐夕陽	二宮花	高橋乙叶	
照井杜季	今川湊太	美世葵衣	木村陽咲	中島颯汰	勝山結音	
神里瑠星	森山結唯	田中凜花	迫田湊	南崎昂晴	野々川葵	
三五葵斗	大石美来	長谷川穂果	西尾瑠菜	角玲音	菅野清虎	
小野楓	瀧田啓翔	森田梨里愛	高橋帆希	龜崎依央里	飯川柚希	
浅尾空	齋藤詩	森田梨里愛	高橋帆希	龜崎依央里	飯川柚希	
栗原蓮	渡邊伊佐	森田梨里愛	高橋帆希	龜崎依央里	飯川柚希	
岡崎朝陽	水島伶晴	森田梨里愛	高橋帆希	龜崎依央里	飯川柚希	
待井星那	高橋青椰	森田梨里愛	高橋帆希	龜崎依央里	飯川柚希	
田村輝	森田梨里愛	森田梨里愛	高橋帆希	龜崎依央里	飯川柚希	
鈴木修真	高橋帆希	森田梨里愛	高橋帆希	龜崎依央里	飯川柚希	
中水流桃李	龜崎依央里	森田梨里愛	高橋帆希	龜崎依央里	飯川柚希	
中野愛梨	花崎一颯	森田梨里愛	高橋帆希	龜崎依央里	飯川柚希	
畑田和帆	加藤波風	森田梨里愛	高橋帆希	龜崎依央里	飯川柚希	
組東花帆	石塚凜菜	森田梨里愛	高橋帆希	龜崎依央里	飯川柚希	
門屋綺利	山岡莉純	森田梨里愛	高橋帆希	龜崎依央里	飯川柚希	
大野晃輔	福田凌久	森田梨里愛	高橋帆希	龜崎依央里	飯川柚希	
石松蘭	宮本恵瑠	森田梨里愛	高橋帆希	龜崎依央里	飯川柚希	
石松蘭	宮本恵瑠	森田梨里愛	高橋帆希	龜崎依央里	飯川柚希	
武藤蒼	田口三奈	森田梨里愛	高橋帆希	龜崎依央里	飯川柚希	
上田裕恒	石堂咲菜	森田梨里愛	高橋帆希	龜崎依央里	飯川柚希	
小幡みのり	秋葉湊斗	森田梨里愛	高橋帆希	龜崎依央里	飯川柚希	

**緑豊かな都心の杜で  
絆深める和婚式**

式人卒業式  
成人式

衣装・美容着付・写真・  
初宮饗膳(ご会食)など  
承ります。

**清涼殿** 03(3312)7515

**結婚式挙式者芳名(敬称略)**

(令和7年4月1日~12月31日)

ウイステイリアアコースロビン・悠美  
中山怜大・夏奈  
松尾隆策・ちひろ  
廣底龍・キャサリンアゲエロ  
針ヶ谷健志・ホアントウタオ  
友田堅司・麻里奈  
ダニエルフラッド・のぞみ  
長田功喜・ルッソソフィア  
ウールズイージェレミー・美香

栗田凌久	山崎せいか	辻谷音羽	今井球
山口琴奈	清谷瑠奈	山口結土	濡木佑
小島彩人	鳥巢晶嵩	篠崎澄	宮本怜依
細野莉侑	小原涼誠	木村光央杜	近藤瑛太
成田えわ	遠藤遙乃	中須隆雄	坂口通唯
保田松采	桑原来楓	牛越輝斗	唐渡望緒
石塚榮	倉持白	野口幹斗	小森あやめ
敷本唯花	平塚美晴	村上日奈子	成瀬悠陽
坪内優月	長谷川莉都	金澤誠司	澤田仁那
丹野夏玖	小澤紗来	飯山彩結	長澤咲菜
富岡絃葉	湯沢綾	松井陽希	

**戌の日早見表**  
(令和8年1月~5月)

5月	4月	3月	2月	1月
12日(火)	6日(月)	1日(日)	5日(木)	12日(祝・月)
24日(日)	18日(土)	13日(金)	17日(火)	24日(土)
	30日(木)	25日(水)		

は大安の日です



**戌の日詣りは  
聖母大神・子育て八幡さまの当宮で  
安産祈願祭を！**

※戌の日以外でも随時お受けしております  
ご祈願の方には安産腹帯(大宮八幡息長帯)と  
共に、へその緒で結ばれたお母様とお子様健康に  
ご出産の時を迎えられますようにとの願い  
が込められた「母子緒守」「安産御守」「安産祈  
願絵馬」を特別に授与しております。



すがすが  
新春にはご祈願をお受けになり、清々しい1年にいたしましょう  
(新春初祈願祭は、2月3日の節分までご奉仕致します。)



修祓の儀



祝詞奏上



鈴振り神事

スマートフォンからは、下のQRコードを読み取ってご覧ください。



大宮八幡宮のホームページでは、遠方にお住まいなど、やむを得ず当宮にお越しにならない方のためにオンライン授与所を開設しております。他にも大宮八幡宮のご由緒や四季折々の祭典・行事、大宮八幡宮でしか見られない行事などが紹介されています。スマートフォンからでもご覧いただけます。

大宮八幡宮のホームページ  
大宮八幡宮オンライン授与所



大宮 第133・134合併号  
令和8年 新春号  
令和8年1月1日発行  
大宮八幡宮社務所

〒168-8570  
東京都杉並区大宮 2-3-1  
電話(3311)0105 FAX(3318)6100  
Mail: info@ohmiya-hachimangu.or.jp

新春社頭風景



表参道の賑わい



授与所にて新春のお守りを受ける参拝者